

KATSURA TARO ACADEMY 2022

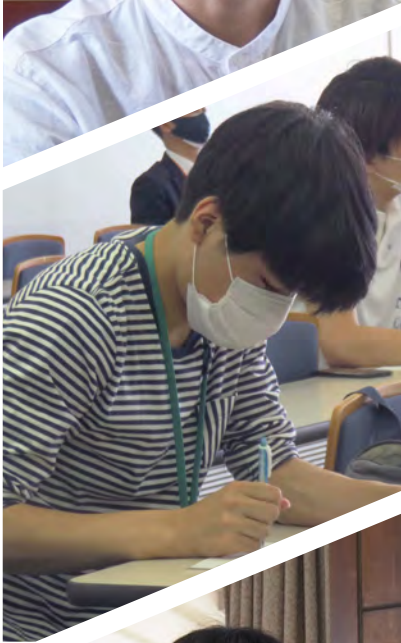
桂太郎塾 入塾案内

学ぶのが楽しい!

桂太郎塾
新期生募集
11.4(木)まで



拓殖大学
Takushoku University



桂太郎塾は “未来のリーダー” を育むプログラム

柔軟性・協調性・バランス感覚を持ち合わせた未来のオピニオンリーダーを育成することを目的としたプログラムです。拓殖大学の創立者である桂太郎の名を冠して、2009年に開塾しました。現在まで学部学科問わず、1期あたり15名程度で活動しています。

塾 是

本学創設者たる桂太郎の志を礎と学びの理想を近代国家建設の原動力たる「草莽の士」を育んだ幾多の私塾に求め、健全な世界観と国家観、透徹した歴史観と倫理観を磨き、豊かな「公共精神」と「開拓精神」をもつ次代の牽引役たる俊英を育成し、もって、国家の発展と繁栄ならびに、世界の平和と安寧に資する。

塾 訓

- 一、謙虚に「知」を求め、高潔なる品性を養え。
- 一、「真実」を探求し、「正義」を貫徹せよ。
- 一、国・故郷を愛し、家族・親を慈しめ。
- 一、進取の精神を忘れず、新たな挑戦に努めよ。
- 一、卓越した識見と国際的な視野を涵養せよ。
- 一、「志」を重んじ、「礼節」をわきまえよ。
- 一、公のため、私心を捨てて献身・奉仕する勇気をもて。
- 一、先人に感謝し、師弟・知友を慕い、「人」として生きよ。

“桂太郎”はどんな人物なのか

生 1848年1月4日 **没** 1913年10月10日

長門国阿武郡萩町（現在の山口県萩市）出身

台湾総督や陸軍大臣、内務大臣などの数多くの要職、さらに内閣総理大臣を歴任。内閣総理大臣の在籍日数は安倍晋三氏に次いで2番目の多さである。1900年に拓殖大学の前身となる台湾協会学校を創設し、初代校長に就任した。



一流の講師から

新しい知識を学ぶ



政治家やジャーナリスト、起業家など毎年、一流の講師の方を迎え、政治や経済、宗教など様々なテーマで約90分間の講義を受けます。講義終了後には、質疑応答の時間が設けられているため、より自分自身の興味や関心を深めることができます。



これまでの主な講師

安藤桃子（映画監督）、木村文（元朝日新聞マニラ支局長）、小島誠二（元駐タイ・パキスタン大使）、栖来ひかり（エッセイスト）、田畑善朗（（株）アール・エフ・ラジオ日本代表取締役会長）、火箱芳文（第32代陸上幕僚長）、増田寛也（野村総合研究所顧問・元総務大臣）、山下貴司（衆議院議員・元法務大臣） 他

2021年度・前期

講 義 内 容

甲斐 信好 先生

本学副学長
国際学部教授



プレゼンテーション講座

丹羽 文生 先生

塾頭
本学海外事情研究所教授



歴史の中の拓殖大学

武見 敬三 先生

参議院議員
元 厚生労働副大臣



日本の保健外交と
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ

後藤 由起 先生

日本福音ルーテル本郷教会牧師
本郷学生センター主事



コロナが変えたもの
— 宗教だって大変だ —

宮内 良尚 先生

元 丸紅株式会社リヤド支店長



日本企業の海外進出について

吉村 剛史 先生

ジャーナリスト
元 産経新聞台北支局長



ジャーナリズムの使命とは

高橋 博史 先生

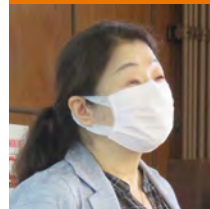
元 駐アフガニスタン特命全権大使



インテリジェンスなき日本

潜道 文子 先生

本学副学長
商学部教授



ビジネスは
何を優先すべきか

森本 敏 先生

塾長
本学顧問



国際情勢と日本の課題

小倉 克彦 先生

本学常務理事

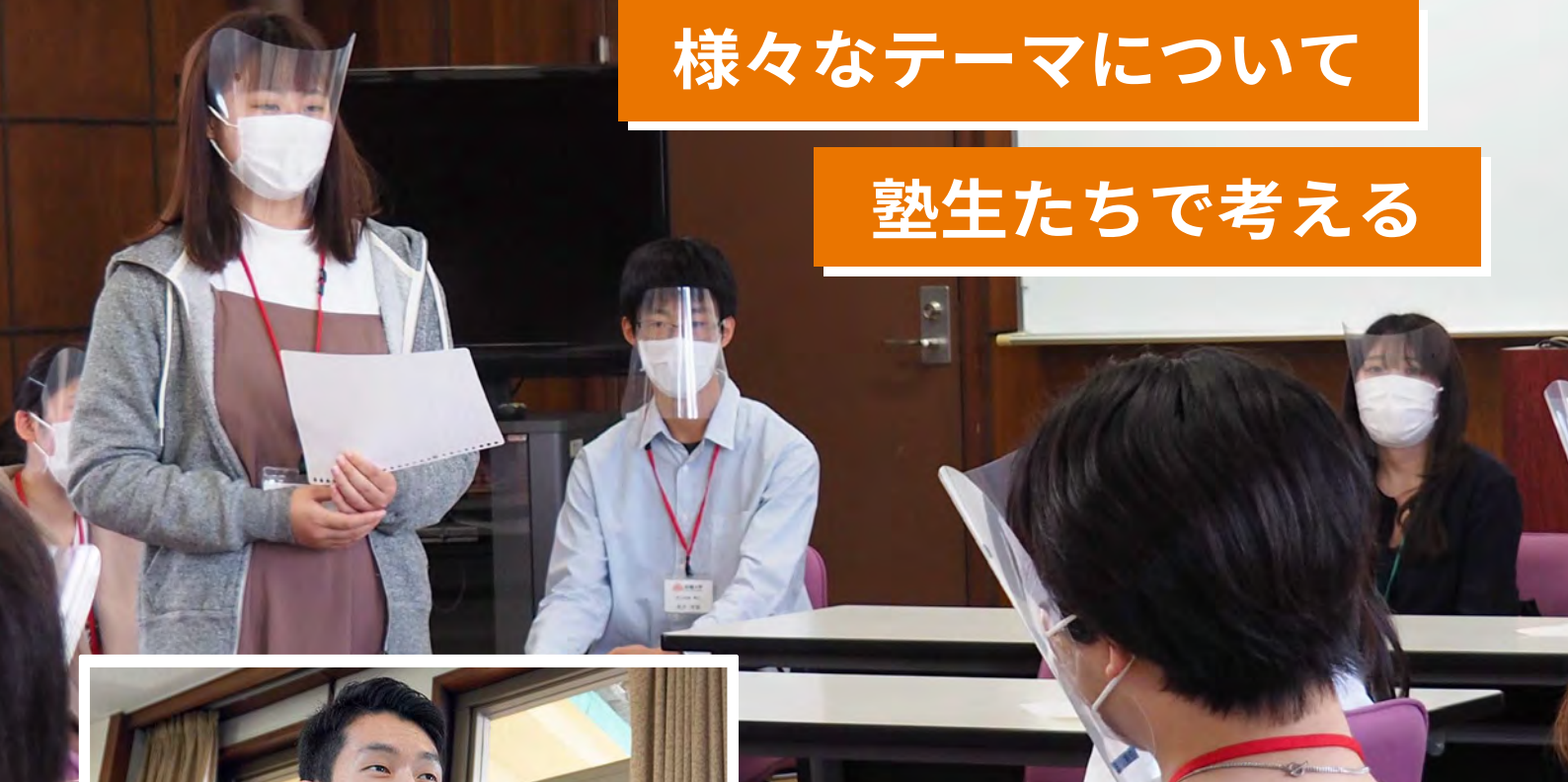


歴史と人物に見る拓殖大学

ゼミナール

様々なテーマについて

塾生たちで考える



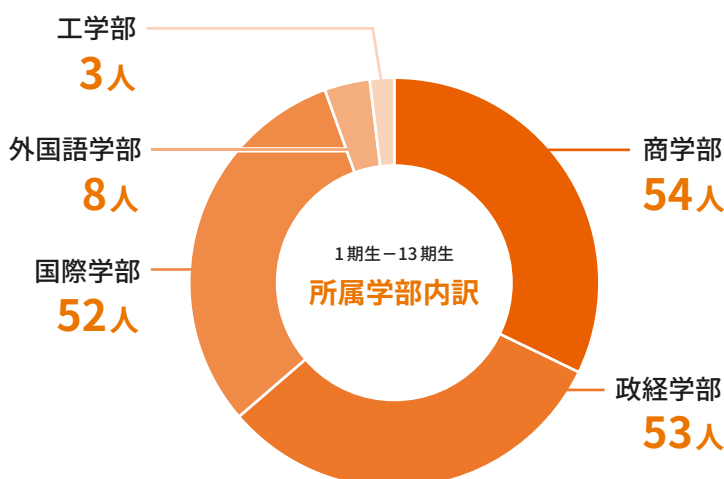
ゼミナールでは日本の問題や時事的な話題をテーマに、討論、論文発表等を行います。塾生たちが主体となり、それぞれの論議、意見を考察し議論を深めます。課題に対する準備力、探究力、考察力、発信力、質問力が磨かれます。そのほか、推薦する書籍をプレゼンして対抗する、ビブリオバトルも行っています。



他の学部学科の塾生と学ぶ /

学部で履修するゼミナールとは異なり、学年や学部、学科が異なる学生、留学生とも議論を行います。普段関わるのが少ない他学部の学生と学ぶことで、異なる意見や新たな疑問を共有し、より活発な議論をすることができます。

これまでの塾生の所属学部





集団討論

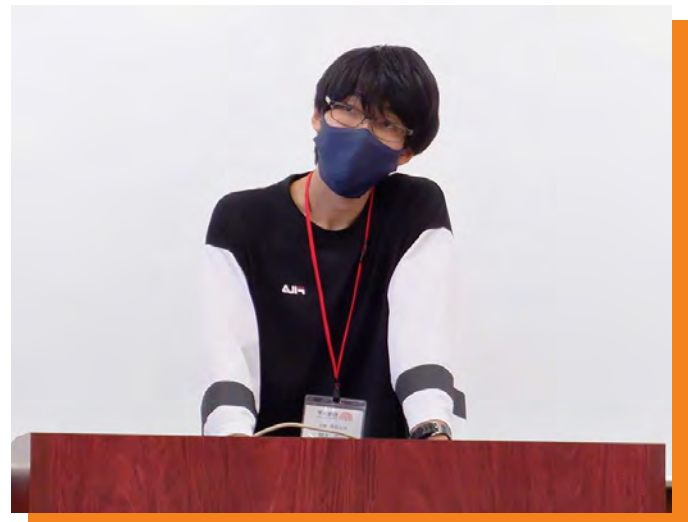
集団討論はテーマに基づいて、1グループ6人程度で話し合いを行い、その後グループごとの討論を行います。討論では質問や意見を交換することで、テーマについてより学びを深めることができます。テーマは法律や安全保障についてなど、あらゆる分野を扱います。

これまでのテーマ

- ・対面式授業とオンライン授業、どちらが効果的か
- ・ビジネスに道徳は必要か
- ・憲法第9条は改正すべきか
- ・海外で活躍できる人材になるためには
- ・仕事に求めるのは「お金」か「遣り甲斐」か
- ・いわゆる「スパイ防止法」は必要か 他

論文発表

論文発表ではテーマに対し、塾生が自ら論文を作成します。作成した論文を先生方や塾生の前で発表し、その後、質疑応答を行います。学生同士の意見交換や先生方のアドバイスにより、新たな考え方を知ることができます。テーマは集団討論と同様、様々なものを扱います。



これまでのテーマ

- ・人間にとって宗教は必要か
- ・日本人のアイデンティティとは何か
- ・現代日本におけるジャーナリズムの問題点
- ・日本が抱える外交課題
- ・日本人にとって天皇とはいかなる存在か
- ・私の国（故郷）の食文化について 他

先生からのメッセージ



塾長 森本 敏

拓殖大学顧問

創設者の桂太郎公爵は、幕末期に長州藩で数々の英傑を世に輩出した学舎「松下村塾」を開いた吉田松陰を敬慕していました。その死去に際しては、遺言で自らの墓地を松陰の霊域に求めたほどです。そんな桂公爵の志を胸に、現代版「松下村塾」を究極の理想に掲げ、平成21年4月、「桂太郎塾」が開塾しました。本塾は、建学の精神に基づき、あらゆる分野においてオピニオンリーダーになりうる俊英を養成し、国家の発展と繁栄、世界の平和と安寧に資することを目的としたものです。

グローバル化が急速に進展する中で、次代の日本を担うリーダーには、「人種の色と地の境我が立つ前に差別なし」と本学の校歌にも謳われている通り、自国を愛し、他国を敬う態度を養うことが求められています。偏狭で排他的なナショナリズムやイデオロギーを捨て、自己主張のみに陥ることなく、相手を受け入れようとする柔軟性、協調性、バランス感覚を持ったリーダーを育成することで、新しい時代の要請に応え、社会変革の原動力となることを目指していきたいと思います。



塾頭 丹羽 文生

所属 拓殖大学海外事情研究所 教授

専門 政治学・日本外交史

吉田松陰は「志定まれば気盛んなり」との言葉を残しました。「志」とは、心に決めた目標に向かって突き進もうとする気持ちです。みなさんの志を応援し、それを実現すべく全力でサポートします。



塾頭補佐 野村 明史

所属 拓殖大学海外事情研究所 助教

専門 中東政治・イスラーム宗派研究

人それぞれ人生にはターニングポイントがあります。その時、何を選ぶのか、それとも何もしないか。その後の人生は大きく変わってきます。桂太郎塾は人生を変えるターニングポイントの1つです。ぜひ一緒に頑張りましょう。



商学部経済学科 4年

ニン・タ・ジン・ウェさん



私は桂太郎塾に入塾して以来、今まで考えたこともなかった政治や社会の様々な課題に触多くの知識を身につけることができました。特にプレゼンテーションは自分の物事に対する考え方が変わりました。プレゼンテーションでは発表者だけでなく、聴衆も事前学習をした上で、臨むことになります。全員が最低1回は発言することがルールなので、事前学習では時に「質問したこと」「質問すべきこと」が、なかなか見つからず、辛い思いもしました。しかし、どんなに苦しくても自分と一緒に仲間も頑張っているということを思いながら、勇気を出して前進し続けています。充実した学生生活を送るため、桂太郎塾にチャレンジしてみませんか？

塾生代表

先輩に聞く

- Interview with seniors -

入塾して良かったこと

卒塾生代表

桂太郎塾 第7期生

台湾国立政治大学国家發展研究所（大学院）博士課程

井田 輝男さん



「若いうちに自己投資をすべき」。まさに桂太郎塾は、大学時代に自己投資をするに相応しい場所です。講義や集団討論、ディベートを通して多様性に触れ、視野を広げ、やがて自己の基盤を形成することができます。その基盤があるからこそ志を立てることができるのです。桂太郎塾で過ごした時間は、私にとって大きな財産となりました。ぜひ、みなさんも今の環境から一步外に踏み出し、世界を広げていってください。



概要

対象	全ての学部1年生・2年生（入塾時学部2年生・3年生）
定員	15名程度
場所	文京キャンパス 国際教育会館（F館）
期間と日時	8か月間（5月から12月頃まで10週開講） 土曜日 講義 10:30 - 12:00 / ゼミナール 13:00 - 14:30
内容	【講義】当代一流の知識人や有識者による講義などを実施 【ゼミナール】論文発表・集団討論などを実施
受講料	無料

入塾試験について

申込方法	志願票と小論文を記入し、研究支援課へ提出
申込期間	2021年10月25日月曜日 - 2021年11月4日木曜日
日時	2021年11月12日金曜日 13:00
場所	オンライン
選抜方法	小論文・口頭試問

修了生の主な進路

東京都教員、山梨県教員、神奈川県教員、札幌市役所、秦野市役所、いわき市役所、陸上自衛隊（幹部候補生）、日本年金機構、野村証券（株）、（株）東日本銀行、JR東日本（株）、富士急行（株）、（株）AIRDO、大東建託（株）、（株）ゼンショーホールディングス、自由民主党本部、（株）日刊工業新聞社、拓殖大学大学院、中央大学大学院、上智大学大学院、国立政治大学大学院（台湾）、拓殖大学職員、その他（起業等）


お問い合わせ

本塾に関すること

研究支援課（文京キャンパス）

〒112-8585

東京都文京区小日向3-4-14 C館2階

 03-3947-7595

 katsurajuku@ofc.takushoku-u.ac.jp

先生に質問したいこと

塾頭 丹羽 文生

 fniwa@ner.takushoku-u.ac.jp

塾頭補佐 野村 明史

 anomura@ner.takushoku-u.ac.jp

過去に行った活動の様子やその他詳細は以下のURLからご覧ください

https://www.takushoku-u.ac.jp/campus_life/katsura_taro/



拓殖大学 Takushoku University

お問い合わせ | 交通アクセス | 図書館 | 機構・研究所 | 文字サイズ: 標準 | Language | サイト内検索

保証人の方 | 在学生の方 | 卒業生の方 | 企業の方 | 入学希望の方

大学案内 | 学部・院・別科 | 国際交流 | 学生生活 | 公開講座 | 就職・キャリア

ニュース一覧 > 桂太郎塾

ニュース検索

2015年3月より前のニュース

桂太郎塾

2021年07月19日	桂太郎塾	学内外講師による講義が行われました
2021年06月23日	桂太郎塾	学内外講師による講義が行われました
2021年05月04日	桂太郎塾	第13期入塾式と学内外講師による授業が行われました
2021年03月18日	桂太郎塾	桂太郎塾 2回目となる第13期生入塾オリエンテーションを開催
2021年01月07日	桂太郎塾	2020 拓殖大学 桂太郎塾紹介動画
2020年12月16日	桂太郎塾	学内外講師による講義が行われました
2020年10月19日	桂太郎塾	桂太郎塾後期授業が始まりました
2020年10月14日	桂太郎塾	桂太郎塾（第13期生）出願受付中
2020年09月10日	桂太郎塾	桂太郎塾 2021年度 第13期生の募集について

講義の様子などが時系列で掲載されています。



2021年度 桂太郎塾紹介動画

講義やゼミナールの様子を動画で！
以下の URL からどうぞ

https://youtu.be/V0hrq1R3U_g

新型コロナウイルス感染対策を実施しています

マスク着用



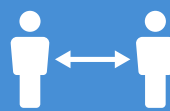
消毒



検温



適切な間隔



換気



対面での実施が再開された令和3年度から、桂太郎塾では新型コロナウイルス感染対策として、マスクやフェイスシールドの着用を必須としています。入室時には検温とアルコール消毒を実施し、体温が37.0度以上ある場合は入室を控えています。塾生は適切な間隔が取れた指定席に着席し、講義中や休憩中には換気を行っています。さらに、塾生が面と向かって話し合いを行う場合はマスク着用の上、フェイスシールドを着用しています。また、講師の方にも検温やアルコール消毒にご協力頂き、講義中に飛沫防止のためのアクリル板を設置しています。